

委託実施している。

岩川診療所事務長 現在実施している総合健診を細分化した、オプション検診などプッチ検診ができないか内部で検討中。

特別会計

診療所特別会計

◆総括◆

植村委員 看護師の確保の状況と、予算の減額要因は。

岩川診療所事務長 新規採用2名分を予算計上している。ハローワークに申込みをしているが、町内にいる潜在看護婦の復帰に期待している。減額の要因は、燃料代や修繕費等の経費削減



町道バリアフリー

減を見込めるため。

国民健康保険特別会計

◆歳入◆

吉原委員 一般被保険者の滞納繰越見込みが1千万円を超えているが。

瀬戸会計課長 町外に転出された方が相当数いる。町外徴収もしているが、なかなか成果が見えてこない状況にある。今後、徴収専門員のなものが1つの検課題になっていくと思う。

介護保険特別会計

◆総括◆

西澤委員 次期計画の保険料も高い水準のまま下がらないのではないか。

鈴木町民課長 今のまま推移すると、現在の水準がそれ以上になると予想している。

◆西澤委員◆

社会福祉協議会が行っている在宅サービスの、種類を増やす等の対策が必要ではないか。

◆鈴木町民課長◆

社会福祉協議会には、更にサービスの拡充・強化を要望している。人員確保等の課題があるが、事業者の方も前向きに検討している。

地域の課題をとらえて

3氏が一般質問



見悟

地層研のトラブルについて



ない。

質問 非公式でも、話は一切聞いていないってことか。

町長 一切聞いていない。仮にそのような話が来たら、議会に報告するし、説明をしたい。三者協定の当事者である北海道や原子力機構にも協議をしたい。

質問 東日本大震災から2年目です。町としては防災ハザードマップなどが作られている。震災の教訓として日常的な避難場所の周知と訓練が必要とされているが、町の取組はどうか。

町長 平成22年に作成した防災マップ並びに平成23年に作成した中小河川流域大雨時危険区域マップに掲載し全戸配布した。昨年も10月に4つの自主防災組織の協力を得て、震度6の地震が発生したことを想定して訓練を実施した。

質問 防災マップの話が出たが、全道同じようなものを作っている。しかし震災前に作られている。更に見直しが必要となっていると思うが、特に冬場を想定した防災計画がないことも問

質問 地下施設の湧水量の増加についてどう考えるか。

町長 湧水量の増加は起こりうること。

質問 情報公開の改善についてどう考えるか。

町長 原子力機構が積極的に情報提供すべきと考える。町民の生活や環境などに影響を及ぼす事故や重大なトラブルの場合は、町として積極的に情報提供を行っていく。

質問 近隣町村などの住民団体などから住民説明会などの開催要請がある時は、

どう考えるか。

町長 その町村の自治体を通して要請されれば説明会を開催すると思う。住民の方々からの直接の要請に応じていくことも検討すべきと考える。

質問 北海道新聞が報道していたが、直接処分研究費として文科省3億円、資源

エネルギー庁3億円の合計6億円。それを5年間実施すると書いてあるが、町長はどのような説明を受けているのか。

町長 何も説明は受けてい